

ばら仕立て法の違いが収量・品質に及ぼす影響

要約

新たな仕立て方法である「改良切り上げ方式」を実施することにより、定植年株では収穫出荷が可能な切り花の6割程度の増加につながった。経年株の場合は最上位規格本数及び総収穫本数の増加につながることが示唆された。

○ 展示のねらい

ばら養液栽培で多くの生産者が取り入れているアーチング切り上げ方式は、切り上げ位置や切り下げ時期の判断は生産者の勘や経験に委ねられており、従業員に採花等を任せることができないのが現状である。そこで「改良切り上げ方式」を現地で取り組み、その普及性について検証する。「改良切り上げ方式」の概要は次のとおり。

- ① 株元から20cmの高さで収穫する。
- ② 収穫後の採花母枝から発生したシュートを株元30cmの高さで収穫する。
- ③ 以後、同様に発生したシュートについて、5cmずつ高さを上げた位置で収穫する。
- ④ 収穫後の萌芽について、切り口が7mm以下の場合には1本になるように芽整理する。

展示内容 供試区：改良切り上げ方式 対照区：アーチング切り上げ方式（現地慣行）

○ 主な成果

品種「サムライ08」の定植年の調査では、収穫出荷が可能な切り花について約67%程度増加し、特に2L規格は1.6倍、3L規格は1.25倍の増加であった(図)。一方、品種「プライムチャーム」の経年株では最上位等級の3L規格及び総収穫本数の増加につながることが示唆された(表)。

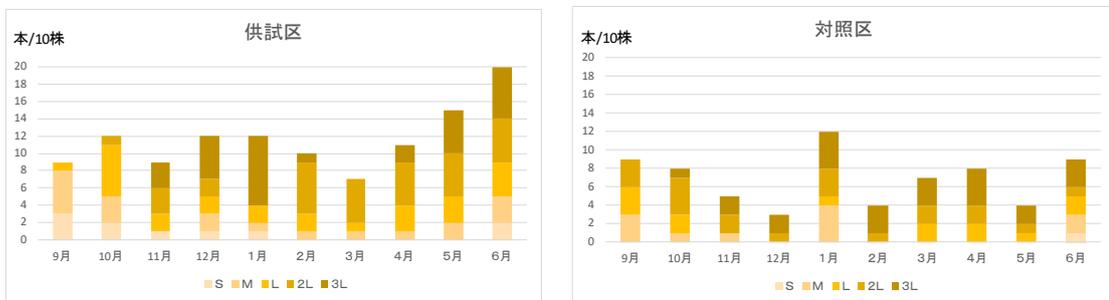


図 定植年株における等級別収穫本数の推移 (品種：サムライ08)

表 経年株における等級別収穫本数の比較 (品種：プライムチャーム)

	S	M	L	2L	3L	合計
供試区	4	38	49	24	13	126
対照区	3	33	45	33	9	121

※調査期間：5月～1月、単位：10株あたり本数

○ 今後の方向性

導入効果には品種間差が大きいことに十分留意し、普及を図る必要がある。

実施機関：下都賀農業振興事務所経営普及部 実施場所：栃木市
 問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315